

サンガーデン便り

令和2年7月号

館内の見どころ

ブーゲンビレアやシコンノボタンの花が咲いています。イチジク・温州ミカン・甘夏・バンペイユ・柿などの肥大を始めたばかりの幼果を観察できます。2階の温室では、バナナの房を観賞できます。



園芸講座・展示会について

新型コロナウイルス感染防止のため講座や展示会は中止しております。

7月の園芸作業

雨の日が続くと病気が、晴れの乾燥する日が続くと害虫が多発生します。花ガラ摘みや整姿剪定を行い病害虫の発生軽減に努めましょう。

☆家庭菜園 トマトは引き続き「わき芽」をこまめに摘み、生育を見て追肥を行います。ナスとピーマンは支柱を立て、枝が水平より上向きになるよう誘引し、生育を見ながら適宜追肥をします。ジャガイモは雨が少なく乾燥すると害虫のテントウムシダマン(オオニジュウヤホシテントウ)が多発し、葉を網目状に食害します。雨が多いと地際の下葉から疫病が発生するので、葉裏から丁寧に薬剤をかけて防除します。最後の培土(土寄せ)は蕾(つぼみ)がつくまでにすませます。スイートコーンは雄穂の見え始める頃に、マルチやトンネルを取り除き、少し追肥をして培土します。越冬貯蔵や漬物にするキャベツは中下旬に定植します。

☆バラ・草花 花壇やプランターのベコニア、サルビア、ペチュニア、アゲラタムなどは、花の期間を長く楽しむため、摘芯(ピンチ)と花ガラ摘みをします。草花の花ガラは病気の原因になりますし、種子をつけると生育が衰退することがありますので、こまめに花ガラを摘んであげましょう。コンテナ植えの場合は液肥や置き肥で追肥し栄養の補給をしてあげます。バラの葉は先の方の2~3枚は3枚葉、その下の葉は5枚葉です。花が終わったバラは、5枚葉を5枚ほど

苫小牧市サンガーデン
〒053-0011
苫小牧市末広町3丁目1番15号
☎0144-33-4411

残して切り戻します。大輪のものや草丈を抑えたい場合は5枚葉を1~2枚残して剪定します。地際から勢いよく伸びたシュート(新梢)は、茎が充実し硬くなってから半分に切り詰めます。肥料は剪定の後に行います。葉に黒点が付き落葉する黒星病が発生するので、病気の葉は摘み取り、落葉した葉も拾い集めてきれいにし、葉の裏面も丁寧に薬剤防除を行いましょ。

☆洋ラン カトレア、オンシジウム、エビデンドラムなど高温性のラン類も、夜温が15℃以上となるので安心して戸外に出せます。葉焼けしないよう明るい日陰や寒冷紗の覆いの下で、吊り鉢または棚上で管理します。旺盛な生育に応じたかん水と施肥を行います。

☆果樹・庭木 イチイは、刈り込み剪定の時期です。ナシ、リンゴ、ブドウ、プルーンの摘果(房)が未だの場合は速やかに済ませ、袋かけは摘果後早めに終わらせませ。天に向かってまっすぐ伸びる徒長枝は、早めに剪定しましょう。



苫小牧の気象

7月の太平洋側は暖かい空気に覆われやすく、気温は高い見込みです。しかし、気圧の谷や湿った気流の影響で、日照時間は平年並みか少な目、降水量は平年並みか多いと予報されています。高温多湿の予報なので病気の発生に注意しましょう。

